

校会部社  
 学協理印  
 中教理印  
 小育理印  
 市教育  
 岡崎視  
 岡崎視  
 発行  
 印刷  
 電話  
 22-1235

交通安全スライドの  
 むし歯予防映画の

寄贈を受く

ライオンズクラブ

最近の交通事情の悪化にともない事故も  
 なぎのぼりに増加し、交通安全運動の推進が  
 一層強くさげばれている時、岡崎南ライオン  
 ズクラブより、市教育委員会を通してつぎの  
 ようなカラースライドの寄贈を受けました。  
 ○小学校交通安全スライド

低学年編・中学年編・高学年編

同じものが五セット用意されていますので  
 いつでも貸出し出来ると思います。また虫歯  
 予防に関係あるハミリ映画（磁気録音ダブル）  
 三巻の寄贈もうけました。

「強い歯をつくろう」  
 「小さな虫でも」

「歯とたべもの」

児童生徒の保健衛生指導に大いに活用され  
 る事を期待しています。なおハミリ映写機に  
 ついては協会に貸出用が準備してありますか  
 ら教材フィルムのお申し込みと共に機材のない  
 学校については同時に貸出しをいたします。

各種大会  
 を顧みて

- ・愛視研大会
- ・教材映画等
- ・利用研究会
- ・全放連大会

愛視研大会

梅園小大会の意義と今後の問題

昭和四十一年の西枇杷島小大会・昭和四十  
 二年の三谷中大会の特色が、視聴覚教材や教  
 具を教育活動の中にどうとりこむかという初  
 期の啓蒙段階なら、今年の梅園小大会はやや  
 きめこまかに各教科等の目標をしっかりと意識  
 して、それを達成するためにどんな視聴覚教  
 材をどのようかという初歩の研究段階  
 といえるだろうか。各分科会の提案・司会・  
 助言者は大部分その教科の実践者である。提  
 案にあたっては視聴覚機材を使用する人が大  
 部分である。又研究協議の内容が実践にうら  
 づけられている等いずれも好ましい傾向であ  
 る。反面いくつかの問題が提起されている。  
 ○県大会に一貫性があつたらうか。  
 ○研究主題の発表が遅すぎで、研究期間が短  
 かい。  
 ○研究協議会形式がマンネリ化している。  
 ○分科会開催に使用する力量と容量不足。  
 ○愛視研と愛視協（放送教育）との関連等今  
 後解決を迫られている問題が多い。  
 幸い多数の会員の参加によって盛大な大会  
 をもつことができました。これも市教育委員  
 会、会場校ならびに市内視聴覚関係者の方々

教材映画等利用研究会

去る十月二十二日梅園小学校を会場にして  
 開かれたこの研究会には岡崎市内の関係者は  
 もろろん西三河の各都市からも多数の参加者  
 を得て盛大におこなわれました。今回とりあ  
 つかつた教材映画「集合の考え」新教材とあ  
 り四十六年度からの移行措置による新教材とあ  
 った討論にも力のこもったやりとりが展開さ  
 れました。特にこの教材映画をどのように効  
 果的に学習指導の中に入れて児童生徒に定  
 着するか、この教材映画の内容を分析する事  
 によって利用する上に問題となるような所は  
 ないだろうか。といった研究討議が中心だっ  
 たように思います。視聴覚教材を無条件に受  
 け入れる事は、教師の主体性に欠けるもので  
 あり、よく内容を吟味した上で指導の中に位  
 置づける事がたいせつである。集合の考えは  
 四、六年対象になっており動画を利用してわ  
 かりやすく説明しているので導入のしかたに  
 よっては大きな効果が期待できる。  
 ライブラリー 畔柳

第二十回放送教育研究会

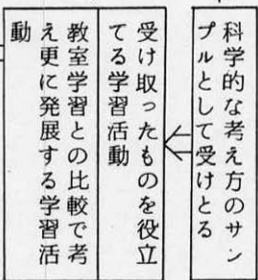
全国大会に参加して

豊かな人間を育てるために、放送教材の特  
 性を生かして学習の内容・方法の構造化をす  
 すめよう」というテーマのもとに全国各地よ  
 り集まった六千人の教師たちの熱気で、開催  
 地仙台の街も何となく活気にあふれているよ

うである。  
 大会は十月三十一日、十一月一日の二日間  
 にわたり熱のこもった討議・発表が行われた。  
 第一日目は、幼・小・中・高・特殊学校の  
 各部会に別かれ、全部で二十四会場で熱心な  
 研究討議が重ねられました。  
 私は、仙台市立原町小学校へ参加いたしました。  
 この学校は理科の授業を中心に研究研  
 究が進められておりました。

学校全体に視聴覚教材（特に放送関係）が  
 よく設備されているのにおどろきました。特  
 に各教室にVTRをそなえつけ、それを女教  
 師が授業の中でどんどん利用されているの  
 に感心させられました。利用の方法がVTR  
 を使用しているもので、生放送とちがいで、指  
 導者が事前に放送内容をよく調べられるので、  
 どこで、どのように視聴させるのが効果的  
 であるか研究されている。授業の中で大へん生  
 かされていた。子ども達の視聴態度が大へん  
 よく訓練されているのに感心させられました。  
 午後は、TV視聴指導についての研究発表  
 があり、学ばなくてはいいけない点が多くあり  
 ました。特に『のぞましい視聴力と視聴によ  
 る効果』について共鳴するところが多かった。

放送内容を  
 正確に受  
 け取る力  
 役に立  
 てる力



その他各地の教師の経験発表などがあり第一  
 日目は終わりました。

第二日目は、校種別全体会があり、小学校  
 部は仙台市公会堂で行われ、北海道・兵庫の  
 代表による研究発表・研究討議などが行われ  
 ました。  
 ほんとうに充実した二日間の研究大会でし  
 た。私たちはもともと放送教材を毎日の  
 学習の中へ取り入れ効果的に活用しなくては  
 損をするな、と痛感して帰ってきました。  
 美合小 岡田

○本校の放送教育

岡崎市立羽根小学校



本校では数年来学習の効果を高めるために視聴覚教育をどのよう  
 に位置づけ、視聴覚教具をどの  
 ように取  
 り入れる  
 かについ  
 て研究し  
 材のでき  
 るだけ効  
 果的な利  
 用を考  
 えてきた  
 のである  
 が、はか  
 らずも開  
 校三十周  
 年を記念  
 して全校  
 にテレビ  
 が設置さ  
 れること  
 になり昭  
 和四十年  
 度に親子  
 式のテレ  
 ビが各教  
 室に入り  
 、それま  
 での数少  
 ないテレ  
 ビをうば  
 いあう状  
 態から一  
 変して自  
 分の教室  
 で居なが  
 らにして  
 テレビ学  
 校放送が  
 利用できる

ようになり放送利用の教育の飛躍的向上とな  
 った。特に社会科・理科・道徳は継続視聴を  
 たてまえとし、学校放送を組み入れた指導計  
 画が立てられ、以来今日まで積極的な学校放送  
 の利用が行なわれてきている。  
 次に校内放送については昭和三八年以来機  
 材の面で修理、改良等できるかぎり手を入れ  
 てきたのであるが放送機そのものが二〇年近  
 くも使用したもので老朽が甚しく使用に不便  
 を感じてきたが本年になって二元デスク型ア  
 ンプの購入と各教室のスピーカーの全放連型  
 の交換が行われ、二期に完成した体育館のア  
 ンプと共にデスク型二台となり充分なものと  
 なった。これより前放送室も機材だけ置く部  
 屋から一五平方のスタジオと付属の調整室が  
 新校舎完成の機会に教室を改造して造られ  
 本年一〇月には篤志寄付によりテレビカメラ  
 が備わってあとVTRが入れば完全な校内放  
 送ができる状態になった。  
 以上のような設備を利用して毎日の校内放  
 送が行われているが、放送の運営は五、六年  
 生の報道委員が一週間の当番制で行なってお  
 り、朝始業前より午後の下校時（夏期は四時  
 三〇分、冬期は四時）まで、アナウンス、放  
 送機操作、録音（NHK学校放送の録音）を  
 行なっている。内容は朝の放送（音楽・お知  
 らせ）、放課の連絡放送、昼食事の放送（月  
 曜）音楽、火曜）学級放送、水曜）NHK学  
 校放送「みんなの図書室」、再、木曜）給  
 食の話、金曜）学校放送「お話し手箱」の再  
 生）お知らせ（月）金まで）主として各種  
 委員会よりの連絡、最後は帰りの音楽を全校  
 に流して終了となっている。テレビカメラは  
 この時間帯の他に雨天の児童集会、木曜集会  
 にも利用されている。特に児童会役員選挙で  
 は立候補者の紹介に威力を発揮し、候補者の  
 徹底と全校的なふん囲気の盛りあがり大いに  
 役立った。

以上のように本校では放送教育を行なっているが、現状に満足することなく、ますます研究、工夫を重ねてより価値の高い放送教育へと進むよう努力をして行かなければと思っ

適正な進路指導をめざして

一進路指導教材映画一

『進学への道』

最近の中学校において進路指導のしめる割合は、年ごとに増加の一途をたどり、進路指導の適否が中学教育を左右しているといっても過言ではなからう。なかでも最近の傾向として高校進学が激増している実態は、学力と入試合格率の相関にのみ関心をむけて学校選択を律している傾向にあるようである。そのような傾向を是正するために、中学一年から進路についての関心を高め、計画的に進学先を決定しようとする態度を養い、必要な理解を深めるための具体的な教材映画として進路指導の一助となる適切な教材が必要となってくる。それがこの映画で、主人公の久夫（中学二年）と彼の親友小林の進路決定の過程をクラブ・家族・進路指導の時間などを通じて描き出している。

教育課程への位置づけ

周知のごとく進路指導は、特別教育活動の中の「学級活動」であって、新指導要領では三カ年間に四〇単位時間を下らぬ範囲で、(1)自己の個性や家庭環境などについての理解 (2)職業・上級学校などについての理解 (3)就職・進学についての知識 (4)将来の生活についての理解

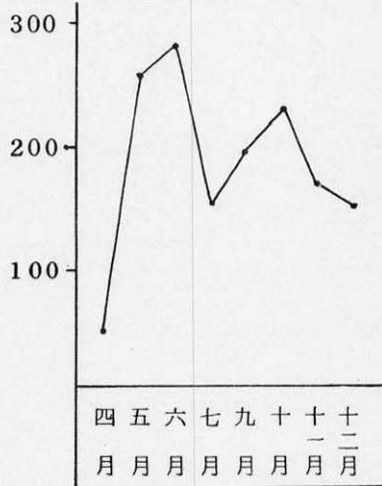
指導することになっている。この映画では、学校の実態と指導計画を勘案し、次のように利用することが望ましい。一年では、学年末

・二年では、二学期の終わりか三学期  
・三年では、一学期中  
またPTAや保護者会などで父兄の進学についての啓蒙をはかるのにも利用できる。

①教科別

教材フィルムの利用状況

月別	4	5	6	7	9	10	11	12
社会	14	86	99	63	73	101	60	66
理科	19	104	136	59	97	91	78	47
音楽	0	2	2	4	1	1	5	10
図工	0	2	2	1	0	0	2	0
技・家体	2	8	0	0	3	2	8	0
保道	2	15	30	12	9	17	12	9
英徳語	1	35	10	11	10	23	11	20
算数	0	0	0	0	0	0	0	0
国語	0	0	0	0	0	1	2	1
外国語	0	0	0	0	0	1	1	1



●視聴覚教育奨励賞受賞

城北中学校

福岡市で開かれた視聴覚教育合同全国大会第一日の開会式で一九六九年視聴覚教育の授賞式が行なわれました。視聴覚賞は、視聴覚教育の理論と実践をもとに、学校・公民館・企業・学校ライブラリーなどの団体を表彰するものであるが、審査は市教委の推選する団体や学校が提出した論文と実践をもとに、中央審査会が行ないます。

わたしたちの城北中学校が、市教委の推選を受けただけでも光栄でしたが、その結果初応募で「視聴覚奨励賞」を受賞できたのですから、教育委員会のご援助はもとより、関係各位のお力ぞえの賜と深く感謝してまいります。応募論文の本文は、グラビア写真と共に「視聴覚教育」誌十二月号に掲載されていますが創立以来の教育実践をありのままに報告したにすぎません。ただ、同僚と共にみんなで一歩一歩進んで来た九か年の実践は、それなり

映写機操作免許証の

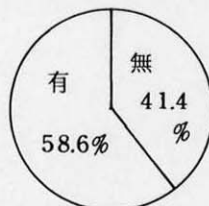
調査結果について

教育の近代化のさけばれていく昨今、視聴覚教材の活用は日に日に活発となつていきます。これにともない機材の扱い方も年々新しくなる機構についていかなくはならないと思えます。去る八月の講習会も多くの人参加をえて充実した内容でおわることが出来ました。そこで協会として現在十六ミリ映写機の免許証をどのくらい所有しているか調査をしました。

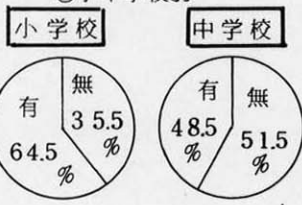
(N生)

調査対象 市内小中学校の先生 (校長・教頭を含む)

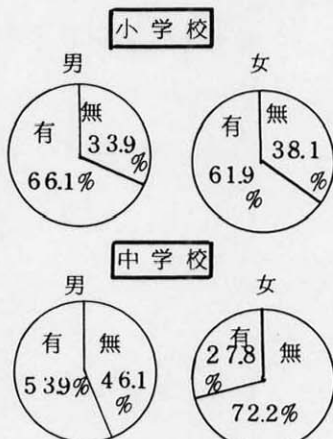
① 全体



② 小中学校別



③ 男女別



### 巡回映画の感想文

#### たつの子たろうをみて

男川小二年 かみむらしんご

たつの子たろうくん、きみはたつの子のようにとてもつよいね。ばくもそのぐらいつよ

かったら、三おく円ごうだつじけんのはんにんをさがして、やつつけちゃうんだけどな。でも、とてやさしい心だね。もし、ばくののおかあさんがいなくなったら、ばくはこわくてさがしに行けないよ。でも、たろうくんは、さがしに行ったので、とてもゆう気があるね。だから、おかあさんが、たつだっただけのおかあさにかえられるようなことをしたから、おかあさん、も、えとのすがたになつてよかっただね。いいことをすると、きつといいことが出来るんだね。ばくも、なるだけ、いいことをするよ。ばくは、先生にちよつとしかられてもすぐなみだが、でそうになつちゃうし、夜ぐらいとときひとり、おべんじょに行くのは、なんだかおぼけが、でそうでこわいよ。

たつの子たろうのようにもつとゆう気のある子に、なろうと思いました。

#### 「竜の子太郎」を見て

三島小六年 西村理恵

十月二十一日私達は映画「竜の子太郎」を見た。私は幼稚園のころ、絵本で見た話を思い出して、幼稚でつまらないのではないかと、最初はたいてい興味がわかなかつたけれど、始めると共に、人形の動きや表情のすばらしさに目を見はり、自然に物語の中にひき込まれていった。

これは古い民話で、自分の手で土を耕し、その土から生まれる物によって生活している人達の物語だ。山ばかりで、耕すことのできる土も水も少ないため、食べる物さえ十分でなかつた貧しい村人達、そういう生活の中からこその物語が生まれたのだと思う。「竜の子」とは、その母が太郎がおなかにいたため空腹にたえられなくて、村人の分まで「いわな」を食べってしまったばかりに、ばつを受け、竜にさせられ、その子として生

まれた太郎は、村人からそうよばれた。うえの苦しさがどんなにつらいものか、私は太郎のおかあさんの心を思い、むねがいたくなつた。土地が富み、作物が十分とれていたら、竜にならずにすんだらうに。

村にもどり、祖母に育てられた太郎は、悪いおにをたいじし、友達「あや」を助ける勇氣ある強い子だった。そして、竜になった母をさがしに北の湖へ行った。「命がけの仕事をするれば母は人間にもどれる」と知つた太郎は、岩山をくだき、湖の水を村におくって土地をうるおし、村人をうえから救うことを思いつき、竜の母と力を合わせて成しとげた。そして、ついに母は人間のすがたにもどり、その上、太郎を育てるために失つた目ももどおりになった。人間の親子として喜び合う二人のすがたに、私も心の中で拍手をおくつていた。竜になつた母を救い、又村人を貧しさから救うため、自ら岩に体当たりする太郎と、竜の勇氣に感動し、そのすがたは私の目にすぐく立派で美しくさえ写つた。

たんに、貧しいということだけで足りないぐらい、私達には考えられないほどの貧しさの中に育つた「竜の子太郎」、それに比べれば、ずっとずっと恵まれて育つたはずなのに、「カッ」とすれば、友達でも、兄弟でもきずつけ合う人もある、現在の若者達の中に、この「竜の子太郎」の勇氣と誠意があるだろうか……。

私はただ物語のすじを追うだけでなく、その奥にあるものを考え、見習わなければならぬと思つた。

映画を見終つた時には、久しぶりに何ともいえない「スカッ」とした、楽しい気分に包まれていた。そして、一方では、たいことをたき、笛を吹き、すもうまでとって、人間そのままの細かな動きや、表情を見せる人形のすばらしさに、心をうばわれていた。